

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取り組み
地域との関わり合いを深め、誰もが楽しく安心して暮らせる 山東校区	高齢者、障がい者が明るくいきいき暮らせるまち	高齢者、障がい者について	閉じこもり防止と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になり外へ出る機会が減少し近所付き合いが減っている ・高齢者同士が自由に集う場所がない ・閉じこもりの高齢者がいる ・コロナ禍で老人会活動やふれあい・いきいきサロンの開催が思うように出来ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会と連携し地域公民館を活用する ・ふれあい・いきいきサロンの内容について創意工夫を凝らす 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい・いきいきサロンリーダーの育成及び研修会の開催 ・ふれあい・いきいきサロンの普及拡充 ・ひとり暮らし高齢者お楽しみ会の開催
			見守りと相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化に伴い、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増加している ・高齢化に伴い、認知症高齢者が増加している ・不安を感じたり手助けを必要としている世帯の把握が出来ていない ・老々介護やひとり暮らし高齢者の安否が心配である ・日常的な困りごとを相談するところが分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り対象者を把握し集いの場への参加促進を図る ・認知症高齢者や障がい者について理解を深める ・自治会と連携し地域全体で見守る体制を目指す ・家庭内の問題を抱え込まない様に相談窓口を広報紙等で周知する 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の開催 ・障がい者サポーター研修会の開催 ・植木心配ごと相談所の周知
			買い物と通院の移動手段	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪く、車やバイクに乗れない高齢者及び障がい者の買い物と通院が困難である 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売や福祉タクシー等、高齢者及び障がい者の移動について情報を収集する 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売、福祉タクシー、乗り合いタクシーの情報発信
	子育てを地域で見守り 応援するまち	子ども、子育てについて	通学路の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路にはみ出している草木や竹が危険である ・道幅が狭いのに交通量が多い ・朝の通勤時間帯スピードが出ている車を見かけるため、集団登校の小学生が心配である 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会及びPTA等へ通学路の点検、草刈りの実施を要請する ・交通安全協会、ボランティア等による登下校の見守り声かけ運動を継続する 	<ul style="list-style-type: none"> ・市土木センターへの情報提供 ・自治会、PTA、交通安全協会、防犯協会との連携
			子育て世帯への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の情報が乏しく、支援が必要な世帯が分かりにくい ・子育ての悩みをどこに相談していいか分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し民生委員・児童委員を中心とした「こんにちは赤ちゃん事業」に協力する ・民生委員・児童委員による挨拶声かけ運動とおし児童とのふれあいを図る ・小学生を対象とした山東寺子屋塾へ積極的に参加促進する ・うえぎ子育て支援マップの周知を行う ・山東子育て支援センターとの連携を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生祝い贈呈事業を通じた情報把握 ・山東小学校及び山東子育て支援センターとの情報交換 ・子育て世代の交流や親子で利用できる機関（施設）の周知
	誰とでも気持ちよく笑顔で挨拶し協力し合えるまち	暮らしについて	住民の繋がりが希薄化	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の仕組みと共に人の考え方が変化し、近所付き合い等の繋がりが減ってきた（コロナ禍も一因） ・行事イベントを企画し呼びかけても参加者が少ない ・全体的に地域の活気が徐々になくなってきている ・誰もが行きやすい交流の場やイベントがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治協、コミセン、体育協会によるグラウンドゴルフ大会、山東え〜とこ祭等校区内行事への多数参加に向け周知を徹底する 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区住民が交流できるイベントの開催に向け各種団体と連携
			担い手不足、世帯状況の把握が困難	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉に関する活動者やボランティア活動の支援者が少ない ・自治協の組織だけではなく若い担い手や地域内協力者等の発掘活動や福祉活動内容の情報周知が少ない ・アパート、貸家、分譲住宅が増え年齢層に関係なく世帯状況が分かりづらく支援が必要な世帯の把握が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協だよりで校区社協の活動内容を周知する ・イベントへの参加協力をとおした若い世代への意識醸成を図る ・自治会との連携を深め支援が必要な世帯の把握に努めると共に相談機関を周知する 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区社協だより（全戸配布）を活用した活動内容及び相談機関の情報発信